

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 336 号	氏名	坂井 無二子
学位審査委員	主査 森 望 副査 永田 泉 副査 宮崎 泰司		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、孤発性パーキンソン病 (PD) における遺伝子変異、特に PARK2/parkin 遺伝子の変異実態と病態との関連性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 家族歴のない孤発性 PD 患者 9 2 例を抽出し、直接シーケンス法により PARK2/parkin 遺伝子の全エクソン (12 exons) の配列を比較し対照の遺伝子配列と比較した。また、PD 患者 6 1 名に対して 123I-MIBG 心筋シンチを適用し心筋と縦隔の H/M 比を算出し自律神経機能を検査し、先の遺伝子変異と神経機能との相関をテストしたもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、2つの新規多型 (R51R, L272I) を発見し、また既知の 3 多型 (S167N, V380L, R366W) の存在を確認した。しかし、アレル頻度は PD 患者と対照群とで有意差は認めなかったため、頻度の高い S167N について臨床病型への影響を心筋シンチにより比較した結果、H/M 比の保持が比較的良好であることを明らかにし、今後のパーキンソン病の診断と研究への発展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は神経内科、特に神経変性疾患の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			